

このたび、岡山市内高等学校PTA連合会 保導部 1月例会・表彰式・講演会に参加いたしましたので、ご報告いたします。

( 保導部では、原則 2 カ月に 1 回程度、研修の場を設けています。 )

○研修実施日時 令和 6 年 1 月 18 日 ( 木 ) 14 : 20 ~

○研修実施場所 ピュアリティまきび

○令和 5 年度 岡山市内高等学校 PTA 連合会 1 月 例会・表彰式

1 例 会 前月保導報告、1~3 月 保導計画、特別保導 など

2 表彰式 岡山南高校から P(保護者) 2 名が表彰されました。

表彰状・・・永井友恵さん 保導年数 3 年

感謝状・・・塩路加奈江さん 保導年数 3 年

3 講演会 少年非行防止対策推進事業の一環として表彰式記念講演会を実施

講 師 **村中 由紀子 先生**

( 山陽学園短期大学名誉教授 臨床発達心理士 )

演 題

**「青年期の心の理解と対応 ~ 抛り所どころを何に求めているのか~」**

感 想

近年の日本の子供たちの自己肯定感の低さ、思春期から青年期の若者の生き辛さの原因と、教師や親としての向き合い方に焦点をあてたお話でした。

親子の間には愛情があり、「愛情」は親から子への無条件のもとで、それとは別に、子自身が自分を愛してくれる人との関わりから育む「愛情」があるということを知りました。「最近の学生達を見ていると、社会性が乏しく、経験値も少なく、自立して家庭生活を営んでいる将来の姿を想像できないことがある。」と話されていました。

子どもにとって「愛情」だけでなく、自己肯定感につながる言葉かけや意味づけといった「愛情」が重要で、それが子どもの心の抛りどころとなり、社会性を育むのだと分かりました。子どもの自立に必要な教育とは何かを考える良い機会となりました。

報告者 保導部 福田